

# Combi



## コンビ ニンナンナ K-58

対面タテだっこ専用 クイックだっこホルド

### 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。  
本品を他の方にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。

### もくじ

表のページ(いま、ご覧のページ)

#### お使いいただく前に

ご使用前に  
安全にお使いいただくために

#### ご参考に

お手入れ

裏のページ

#### 各部のなまえ

#### 準備

肩ベルトの長さ調節の方法  
新機能 スウィング ストッパーシステム(特許出願中)の使用方法

#### だっこするには

(腰がすわってから～36ヵ月ころまで)  
だっこのしかた  
だっこのはずしかた

インターネット上に育児コミュニティを開設しています

コンビの育児応援サイト・コンビタウン

<http://www.combibaby.com>

## コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、「お客様相談室」までご連絡ください。  
お客様相談室 / 〒339-0025 埼玉県岩槻市釣上新田271  
TEL. (048)797-1000 FAX. (048)798-6109

## ご使用の前に

このたびはコンビ ニンナナンナ K-58をお買い上げいただき、ありがとうございます。この製品は、一般のご家庭でお子さまと外出するときに使用する1人用だっこ補助具です。

「対面だっこ」として使用できます。ご使用の前に、「各部のなまえ」をご確認ください。

### 使用できるお子さまの月齢について

(お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります)

**対面だっこ** 腰がすわってから 36ヵ月(15.0kg)まで

体重：15.0kgまで

参考月齢：腰がすわってから～36ヵ月ころまで

※使用者の適用ウエストサイズは、110cmまでです。

## ご参考に

### お手入れ

#### 洗濯および日常のお手入れ方法

- 洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いをし、形を整えて日陰で平干ししてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。



お子さまのよだれなどが生地につきまると、生地がかたくなる場合がありますので、その際には早めに洗濯してください。かたくなった生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

#### 洗濯についてのご注意

- 色落ちすることがあります。他のものといっしょに洗ったり、つけおき洗いはおやめください。
- 漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は肌あれ・湿疹などの原因となりますので、使用しないでください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。
- アイロン掛けはしないでください。

#### ■洗濯表示



#### ■素材

表生地		裏生地	
ナイロン	88%	ポリエステル	85%
ポリエステル	12%	ナイロン	15%
ベルト		バックル	
ポリプロピレン		ポリアセタール	



## 安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

**警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

**注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

- の中に具体的な注意内容が書かれています。
- 警告** 記号は警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。
- 注意** 記号は禁止行為であることをお知らせするものです。

## 警告

首がすわっていないお子さまや、ひとりすわりのできないお子さまには絶対に使用しないでください。お子さまの身体が安定していませんので、落下するおそれがあります。



使用中は必ず手で支えてください。お子さまが落下するおそれがあります。



使用時には、製品がお子さまのわきの下までくるように深くすわらせてください。お子さまが落下するおそれがあります。



「肩ベルトバックル」と「腰ベルトバックル」を確実にとめてください。お子さまが落下するおそれがあります。



お子さまと使用者ができるだけ密着するよう、肩ベルトの長さを調節してください。お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



使用中に走ったり、飛び跳ねたり45°以上の前かがみや横ゆげなどの無理な姿勢はしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。



使用時には、必ずお子さまの両手を肩ベルトから外側に出してください。お子さまが落下するおそれがあります。




お子さまの乗せおろしは、必ず使用者がすわった状態で行ってください。お子さまが落下するおそれがあります。



使用時には、「ホールドベルト」を確実にとめてください。お子さまが落下するおそれがあります。



ベルトの先端の返し縫い部をほどいたり、生地を切らないでください。故障や重大な事故につながるおそれがあります。



# 注意

授乳後約30分以内や、連続2時間以上の使用はしないでください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけるおそれがあります。



使用中はポケットに硬いものや鋭利なものを入れないでください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけるおそれがあります。



使用者自身が痛みや不快を感じた場合には、使用を中止してください。



お子さまをだっこする以外の目的では、使用しないでください。破損や故障の原因になります。



ほつれ、やぶれ、傷、あるいはバックルなどの部材が破損した場合は、ただちに使用を中止してください。そのまま使用しますと、事故につながるおそれがあります。



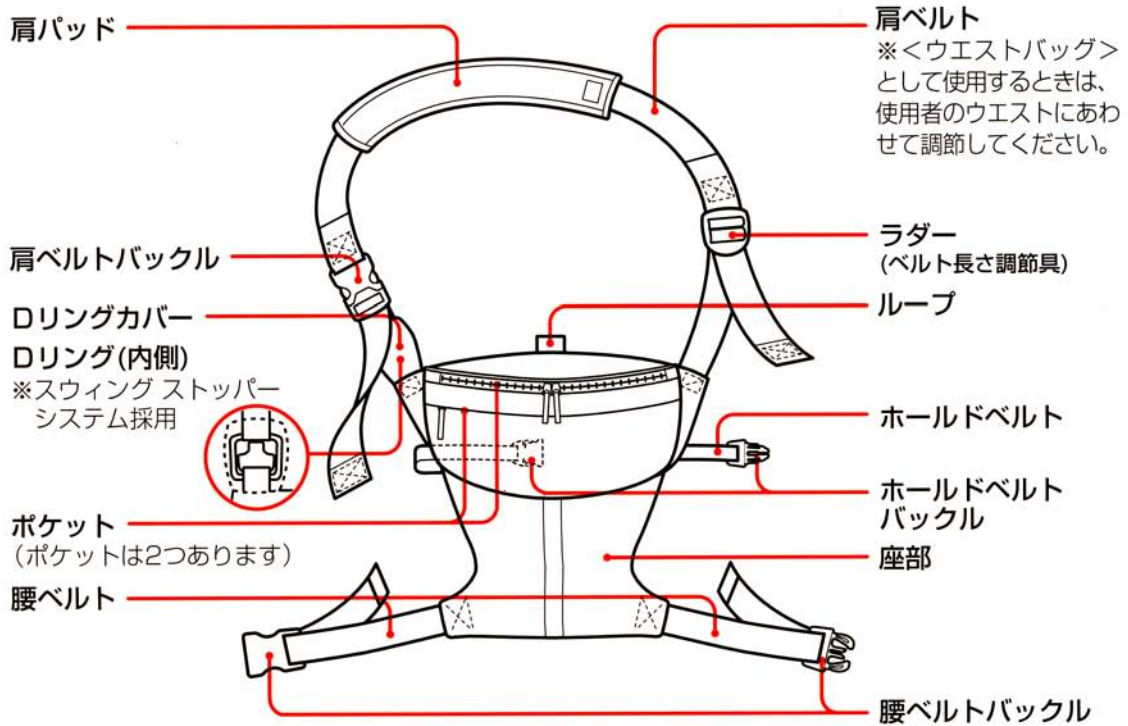
製品を火の近くや屋外に放置しないでください。熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。





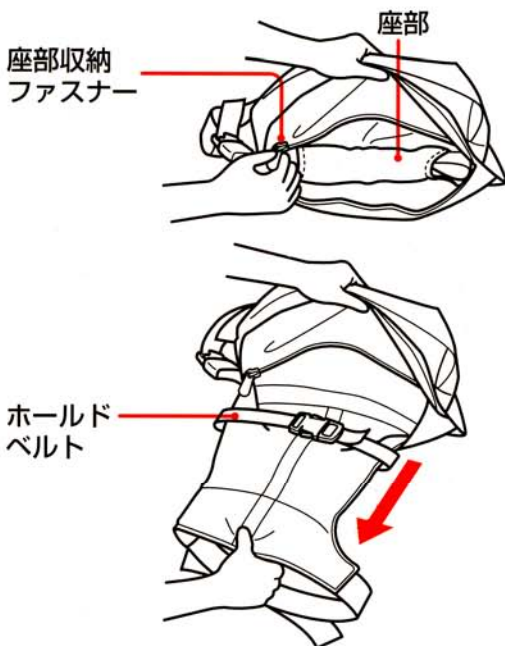
# 各部の名前

## 各部のなまえ



### ■ 座部の引き出しかた

座部収納ファスナーを開けて、座部を引き出します。



### ■ バッグとしての使用方法

肩ベルトを利用して、<ワンショルダーバッグ>や<ウエストバッグ>として使用できます。

#### <ワンショルダーバッグ>

肩ベルトバックルまたはラダーを使用して、肩ベルトの長さを調節してください。



#### <ウエストバッグ>

肩ベルトバックルとラダーを使用して、肩ベルトの長さを使用者のウエストにあわせて調節してください。



このときベルトの余りを、肩パッドとベルトの間に入れて収納することができます。

# 肩ベルトの長さ調節の方法

## 肩ベルトの長さ調節の方法

### 準備

#### ●短くするとき

片手でお子さまを持ち上げ、お子さまの体重がベルトにかからないようにしながら、反対の手で矢印のように肩ベルトの余り部分を引きます。



#### ●長くするとき

肩ベルトバックル(またはラダー)の下部を持ち上げてベルトと垂直になるよう起こし、反対の手で矢印のように肩ベルトを引きます。



### 新機能

## スウィング ストッパーシステム(特許出願中)の使用方法

●寝てしまったお子さまを静かにスムーズにおろせます。

**警告** お子さまをおろす際は、必ず使用者がすわった状態で行ってください。お子さまが落下するおそれがあります。

**1** お子さまを支えながら、反対の手で肩ベルトバックルをはずします。



肩ベルトバックルがDリングで止まるまで肩ベルトの長さが伸びます。



- 2**
- ① Dリングカバーを下方にずらし、
  - ② Dリングのふたを開けながら、
  - ③ 反対の手で肩ベルトバックルを持ち通します。



**3** お子さまを安全な場所におろします。



※スウィング ストッパーシステムは、右肩でだっこする場合のみ、イラストのように使用できます。

(このとき、お子さまをおろすために十分な空間がある場合には、この状態でおろすこともできます)



# だっこのしかた

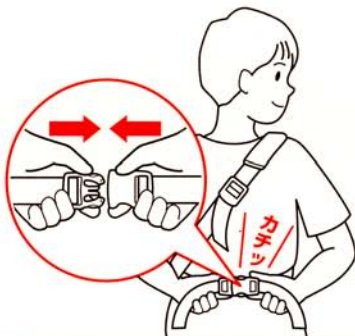
(腰がすわってから～36ヶ月ころまで)

## 1 図のように、肩ベルトを身体に装着します。

(お子さまを入れるための余裕が必要なため、肩ベルトの長さはゆるめに設定します)



## 2 座部収納ファスナーを開けて座部を引き出し、腰ベルトをウエストにぴったりと装着します。



**警告** お子さまが落下するおそれがありますので、装着後腰ベルトバックルを左右に引き、はずれないことを必ず確認してください。

## 3 椅子にすわり、お子さまを上から入れます。

このときループに指を差し込み、上方に引いてお子さまを深く座らせてください。



**警告**

●お子さまを乗せる際は、必ず使用者がすわった状態で行ってください。お子さまが落下するおそれがあります。  
●使用の際は必ずお子さまの両手を肩ベルトから外側に出してください。お子さまが落下するおそれがあります。

## 4 片手でお子さまを持ち上げ、お子さまの体重がベルトにかからないようにしながら、反対の手で矢印のように肩ベルトの余り部分を引いて長さを調節します。



**ワンポイント** 装着後、肩ベルトバックルが使用者やお子さまにあたる場合には、いったんお子さまを安全な場所におろしてから肩ベルトバックルと反対側のラダー(ベルト長さ調節具)を調節してください。

### ●肩ベルトバックルの位置が上過ぎて肩の方にきてしまったとき

肩ベルトバックル部のベルト余りを引いて、肩ベルトバックルを適切な位置まで下げ、ラダーで肩ベルトの長さを調節してください。

### ●肩ベルトバックルの位置が下過ぎてリングと接近してしまったとき

(肩ベルトバックルとリングが近い位置にあると、肩ベルトバックルをはずしてもお子さまをおろすための十分な空間が保てません)

肩ベルトバックル部のベルト余りを短くして、肩ベルトバックルを適切な位置まで上げ、ラダーで肩ベルトの長さを調節してください。

## 5 ロリングにカバーをして、肩パッドを手前に引いて肩ベルトバックルをカバーします。

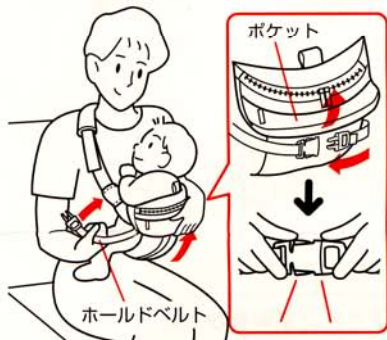
※このとき使用者の体型によっては肩パッドがバックルをカバーすると肩パッドが肩まで届かなくなる場合があります。

肩パッド



リングカバー

## 6 ポケットを持ち上げて、ホールドベルトのバックルをはずし、お子さまのわきの下からお腹側にまわして、外側でバックルをとめてください。



## 7 お子さまの体型に合わせてホールドベルトの長さを調節します。しめ具合は、指一本入るぐらいが目安です。



**警告**

必ずホールドベルトを使用してください。お子さまが落下するおそれがあります。